

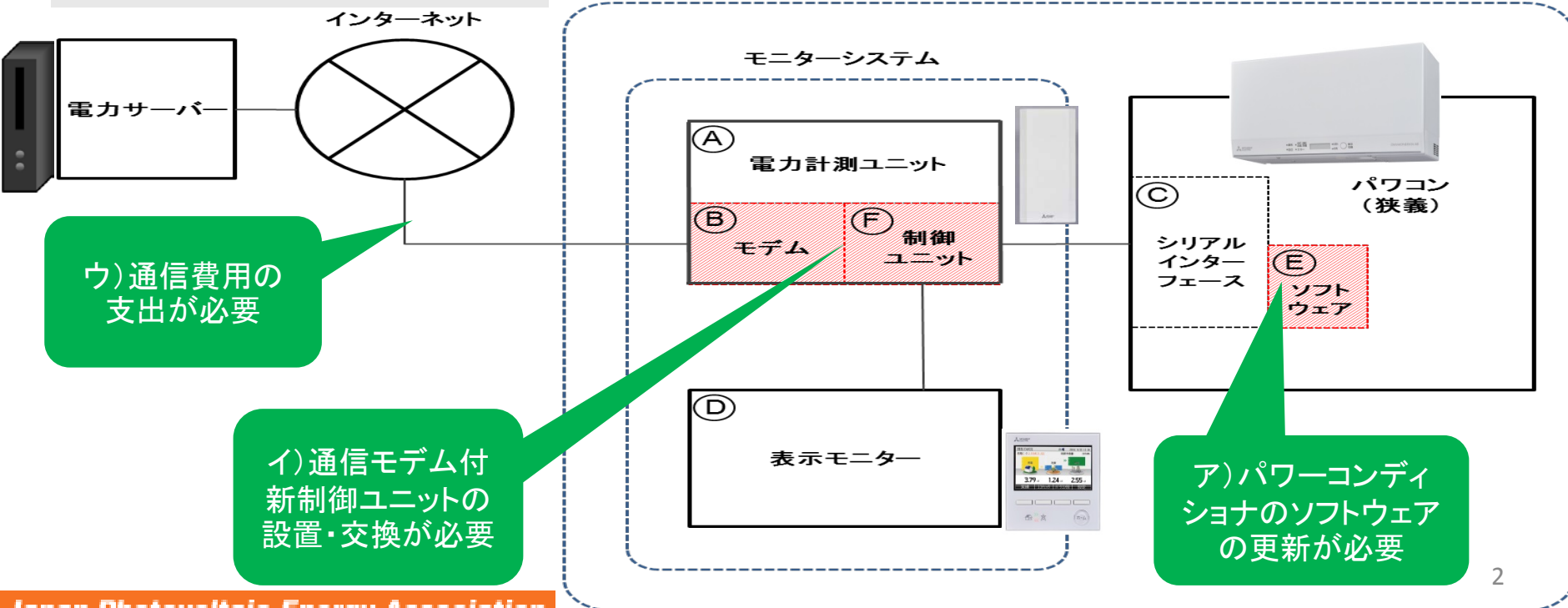
遠隔通信出力制御機能付加による システムコスト上昇試算について

平成27年1月28日
一般社団法人 太陽光発電協会

1. 遠隔制御のために追加的に必要なシステム構成

- ① 今回の接続ルール変更が施行適用される平成27年1月26日又は4月1日以降、一定の出力制御を受け入れることを前提として系統への接続を行うことが必要。電力会社からの求めに応じ、出力制御に対応する機器（遠隔制御機能付の機器等）の導入等の対応が必要となる。
- ② しかし、平成27年1月26日又は4月1日時点では、遠隔制御機能付の機器は、市場に投入されていないことから、太陽光発電事業者は、当初、市場に存在する機器を設置しておいて、将来、遠隔制御機能付の機器が投入される場合には、追加的に、ア) パワーコンディショナのソフトウェアの更新、イ) 通信モデム付新制御ユニットの設置・交換、ウ) 通信費用の支出をするといった工夫を行うことが必要となる。
- ③ 現時点では、規模別には、a) 10kW未満の設備では、必ずしも現行市場に存在する制御ユニットを設置する必要はないこと、b) 2,000kW以上の設備では、専用線を整備する必要がある等の違いがある。

構成図は10kW未満住宅用の場合



2. 遠隔制御のために追加的に必要となる費用

会員企業等へのヒアリングによると、追加的費用合計は容量別平均で、0.40～3.78万円／kW。

①パワーコンディショナのソフトの更新費用は、0.09～0.53万円／kW。

②新制御ユニット設置・交換費用は、0.25～2.25万円／kW。

③通信費用は、買取期間中の通信費合計を対象とした場合、0.05～2.00万円／kW。

	資本費(kW当たり)				運転維持費(kW当たり)		追加的費用 合計 (kW当たり)
	パワーコンディショナ		モニターシステム		通信費※1		
	遠隔制御対応の ソフトの更新費用	投入時期 (検討中)	遠隔制御対応の 新制御ユニットの 設置・交換費用	投入時期 (検討中)	通信費用 (買取期間中 合計)※2	開始時期 (検討中)	
10kW未満	0. 50万円	2015年7月 ～2016年3月	2. 25万円	2016年 10月～	—	—	2. 75万円
10kW以上 50kW未満	0. 53万円	2015年7月 ～2016年3月	1. 25万円	2016年 10月～	0. 1万円/kW/年 (2. 00万円)	2016年 10月～	3. 78万円
50kW以上 500kW未満	0. 13万円	2015年7月 ～2016年3月	0. 31万円	2016年 10月～	0. 01万円/kW/年 (0. 28万円)	2016年 10月～	0. 72万円
500kW以上 2, 000kW未満	0. 09万円	2015年7月 ～2016年3月	0. 26万円	2016年 10月～	0. 003万円/kW/年 (0. 05万円)	2016年 10月～	0. 40万円
2, 000kW以上	0. 10万円	2015年7月 ～2016年3月	0. 30万円	2016年 10月～	0. 005万円/kW/年 (0. 10万円)	2016年 10月～	0. 50万円

※1: 通信回線がない場合はローカルカレンダーでの対応を想定。

※2: 開設費用を含む。

ご清聴ありがとうございました。

一般社団法人 太陽光発電協会